

2023.6.29 年度和坂小学校の美しい桜づくりさくらカルテ

	細項目	A23	A24 選定	A25 選定	B16	B17	B19 旧 A19	C11	C12	C13	C4 旧 D4
種類		ソメイ ヨシノ	ソメ イヨ シノ	ソメ イヨ シノ	ソメ イヨ シノ	ソメ イヨ シノ	ソメイ ヨシノ	ソメ イヨ シノ	ソメイ ヨシノ	ソメ イヨ シノ	ソメイヨ シノ
高さ	cm										575cm
周径	cm										39cm
枝葉	枯れ枝										少し有
	葉数										多い
	花芽 冬芽										普通
	病虫害										無
幹	木肌										やや粗
	コケ										地衣類少
	病虫害										無・胴吹有
根元	根										巻根露出
	病虫害										無
	土 壤 硬 度 mm										15mm 良好
総合 評価											○ 回復途上、 隣接桜の 陰のため 調整
改善 対策	枝葉										枯枝除去
	幹										胴吹除去
	根元										巻根の切 除と 30cm 深改良





C4 先端折れ

C4 小枝枯れ

C4 巻根・根系露出

樹木医による評価と対処法

1、枝葉

- ・水分不良による梢端枯損が多いが、剪定除去のため、目立たなくなっていた。
→竹割法、案内棒（50cm）等の導入による土壌改良を促進する。なお、ドライバー等により表層15cmまでの表土は改善されているが、20cmより深い層がかなり硬化しているので50cm程度までの改善が必要である。
- ・日当たりが悪いところは、小枝枯れが発生していた。
→枯れ枝、徒長枝、重なり枝等を剪定する。
- ・ヒロヘリアオイラガ、ウスバツバメ等による食害が発生していた。
→繭、幼虫を見つけ取り、駆除する。
- ・枝の30%以上を覆う地衣類の発生はコケ落としをしたため見られなかった。
→樹肌が健全化し良好であるため、新たに処置する必要はない。

2、幹

- ・樹皮が荒れ、樹脂が流出している幹にコスカシバ等が発生した部分が見られた。
→樹脂が流出している樹皮をはがして、幼虫を除去し、殺菌剤を塗布する。
- ・幹の腐朽が見られる部分があった。
→傷口の大きい腐朽部は削って、殺菌剤を塗布する。
- ・胴吹が見られた。
→日が当たらない場所の胴吹、か細い胴吹は剪定除去する。

3、根元

- ・根上り、巻根等が見られた。
→土層が薄いことが多いので、透水性の良い土壌を客土する。
- ・ヤゴ（ヒコバエ）の発生が見られた。
→日当たりが良い場所は、成長の良いものを2本程度残す。
日当たりの悪い場所ではすべて除去する。
- ・下草がある。
→侵略的外来種及びヨモギ（害虫サクラフシアブラムシの中間宿主でありアレロパシーにより多様性阻害する）は除草する。

4, 土壤硬度 (踏圧等により硬度が高くなる)

- ・表層 10 c mは硬度 8~18mm で非常に良い状態であるが、深さ 30~50 c m層に硬い層があり竹筒を入れることが難しい箇所があった。
→竹筒割法の促進及び、案内棒 (50cm) 等によって深さ 50cm までの改善が必要である。

※ソメイヨシノの再生について

- ・ヤゴ (ヒコバエ) 及び胴吹きを 2~3 本残して剪定再生させる。
- ・病虫害枝等を剪定・殺菌し、土壤改良をして改善する。
- ・不定根が見られる場合は、不定根の導入による再生を検討する。
- ・今後桜の枯死木が生じた場合、ヤマザクラ (明石市に分布する種) 又はオオシマザクラ (植栽種) の種をとり、苗床に播種し、台木を育てた後に、ソメイヨシノの枝を接木する。